

平成 29 年 7 月 10 日

医科・歯科施設の皆さま

自治医科大学附属病院

病院長 佐田 尚宏

臨床腫瘍科

科長 藤井 博文

患者サポートセンター

センター長 森澤雄司

臨床腫瘍科への直接紹介の見直しについて（お願い）

平素はいつも大変お世話になっております。

現在、自治医科大学附属病院臨床腫瘍科では、人手不足の状態が続いており、その中で、何とかがんの薬物療法を臓器横断的に実施しております。治療の最終ライン付近に位置される紹介患者さんの多くは、病状の進行とともに種々の症状が出現し、がんに対する薬物療法のみならず原病由来の諸症状にも対応が必要となる方が多いのが現状です。院内の診療科から臨床腫瘍科へ紹介となる場合、原病由来の諸症状への対応は、紹介元の診療科が行いますが、他医療機関から直接臨床腫瘍科への紹介・初診の場合、すべての対応を臨床腫瘍科単科で行うこととなり、人手不足から責任ある全人的な医療を提供することが難しくなっていました。

自治医科大学附属病院では、「断らない親切な医療」を目標にしており、こうした臨床腫瘍科の問題に対して、直接臨床腫瘍科への FAX 紹介を見直し、原病診療科宛にご紹介頂くことで、ご紹介頂く患者さんの診療をより充実させたいと考えております。

つきましては、今後、臨床腫瘍科で治療が必要と皆さまが判断される初診患者さんがおられる場合は、まず該当すると思われる原病診療科あての紹介状を患者さんにお渡しくださいますようお願いいたします。宛先の診療科が不明の場合は、まず患者サポートセンター（0285-58-7109 or 0285-58-7463）にお問い合わせください。

以上、ご不便をおかけして誠に申し訳ございませんが、臨床腫瘍科の事情等をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、ご案内申し上げます。